

2004年度事業報告

I 事業期間 2004年4月1日～2005年3月31日

II 事業の成果

相談事業においては、「障害者生活支援センターつるみ」を拠点に、様々な生活相談に応じる一方、「生活支援センター連絡会」に結集して支援センター相互の協力体制の推進に貢献することができた。

研究事業では、障害者の生活と権利保障のあり方に関する総合研究に取り組んだ。昨年度に続き新たに、「精神障害をもつ人が地域でくらししていくために」「障害保健福祉改革のグランドデザインは何を描くのか」「障害者自立支援法と応益負担」のブックレットを発行した。また、「教育関係者・学齢期の親のための障害者自立支援法Q&A」を発行した。障害者児の社会的支援ニーズ実態調査（サンプル数4352）に取り組み、報告集を発行した。

講座開催事業では、障害児をもつ母親たちを対象とする「障害者運動連続講座」「施設経営者・管理者・主任セミナー」「実践力強化セミナー」などを開催した。

教育相談事業に専任者を配置し、教育相談、発達診断、教師連続講座などに新たに取り組んだ。

講師派遣事業では、各種学習会に201回の講師派遣を行った。

福祉施設ネットワーク事業では、前年度に続き加入事業者への訪問を行ったほか、後見的支援事業の本格実施にむけた準備を行ってきた。

情報提供事業では、壁ニュース128回（教育版を含む）を発行するなどあわせ、ホームページの更新を実施してきた

III 事業の実施状況

<特定非営利活動にかかる事業>

(1) 講座開催事業

【内容】 障害児者、家族、福祉職員、事業経営者等を対象とした講座の開催

【実施場所】 公共施設等に於て開催

【実施日時】

①福祉施設新任職員研修会 55名

6月25日 大阪グリーン会館大ホール

「ネットワークポポロの役割」

講師 中内 福成（大阪障害者センター）

「働くあなたに～民間社会福祉施設の歴史を踏まえて」

講師 永岡 正己（梅花女子大学）

7月3日 大阪市立社会福祉センター

「実践から見えてきたもの」

講師 辻奈 緒美 (ふたかみ福祉会)

札幌 信満 (社会福祉法人コスモス)

②ネットワークポポロ研修会 93名

9月17日 大阪市立社会福祉センター

「支援費制度と介護保険の統合について」

講師 白沢 仁 (障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会)

③教職員のための障害児教育実践講座 101人

5月21日 大阪市立中央区民センター

「自閉性発達障害の病理と療育」

講師 藤井 建一 (耳原総合病院 医師)

5月22日 大阪市立中央区民センター

「自閉性発達障害児の発達理解の基礎理論」

講師 荒木 穂積 (立命館大学)

「自閉性発達障害児の発達と教育」

講師 白石 正久 (大阪電気通信大学)

「自閉性発達障害児と教育実践」

講師 白石 正久 (大阪電気通信大学)

四方 厚子 (府立八尾養護学校 教諭)

④障害のある子どもたちの学童保育・放課後保障講座 70名

6月8日 アピオ大阪

「障害のある子どもたちの発達と指導」

講師 白石 恵利子 (滋賀大学)

6月13日 大阪府谷町福祉センター

「大阪における障害児放課後保障の現状と課題」

講師 前田 達夫 (障害児の豊かな放課後保障を実現させる会)

「放課後、ワンクッションをおいて帰宅する意味を考える」

講師 村岡 真治 (東京・ゆうやけ子どもクラブ)

「地域にねざした障害のある子どもたちの放課後保障」

講師 黒田 学 (滋賀大学)

⑤教職員のための障害児教育実践講座 (発達診断) 84名

8月19日 大阪障害者センター会議室

「発達をどう理解するか」

講師 中村 隆一 (人間発達研究所)

「乳児期、一歳半及び二歳半までの発達と診断の実際」